

製品名: IRF3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82968**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 47.2kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | IRF3 |
| 別名 | IIAE7 |
| 遺伝子 ID | 3661.0 |
| SwissProt ID | Q14653 |
| 免疫原 | HEK293-6e 細胞上清中に発現したヒト IRF3 (AA: 1-150) の精製された組み換え断片。 |

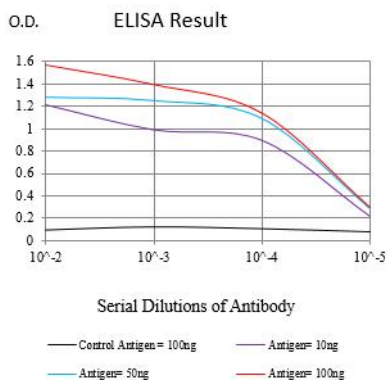
背景

この遺伝子は、インターフェロン制御転写因子 (IRF) ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は不活性な細胞質型で存在し、セリン/スレオニンリン酸化を受けて CREBBP と複合体を形成します。この複合体は核に移行し、インター

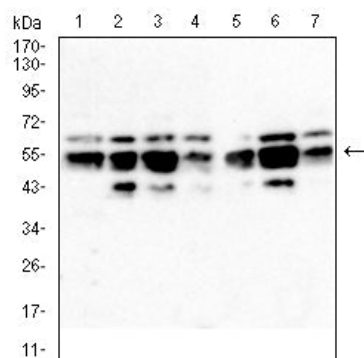
フェロン α および β 、ならびに他のインターフェロン誘導性遺伝子の転写を活性化します。このタンパク質は、DNA および RNA ウィルスに対する自然免疫応答において重要な役割を果たします。この遺伝子の変異は、急性、感染誘発性、ヘルペス特異的な脳症と関連しています。

研究分野

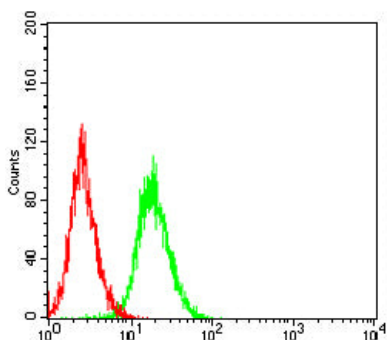
画像データ



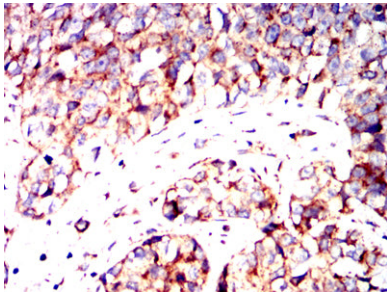
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



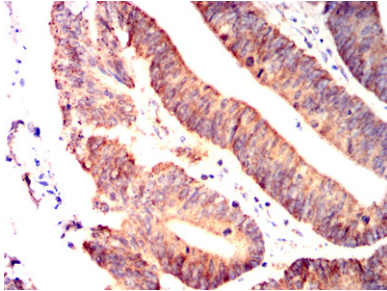
THP-1 (1)、Hela (2)、A549 (3)、MCF-7 (4)、K562 (5)、Jurkat (6)、A431 (7) 細胞溶解物に対する IRF3 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



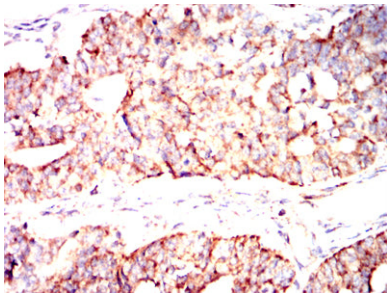
IRF3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



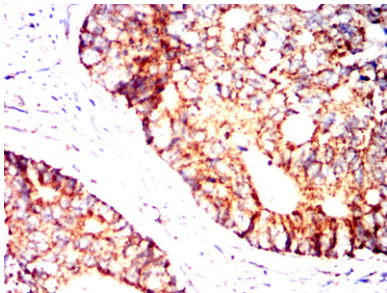
IRF3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



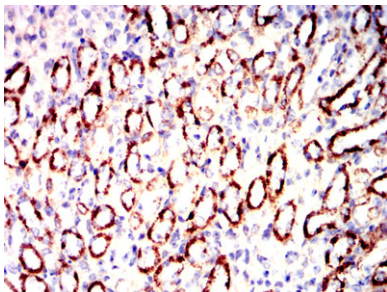
IRF3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



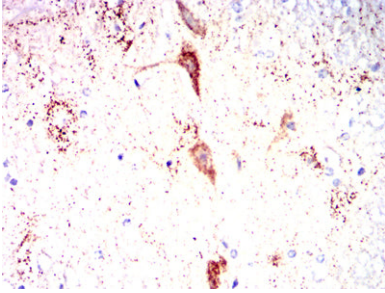
IRF3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



IRF3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。



IRF3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。



IRF3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学分析。